

岡山県私学助成制度の見直しの考え方（案）

1 はじめに

- ・本県の私学助成について、少子化や制度の複雑化などの問題に対応するため、事務事業の総点検を契機として検討することとし、本委員会を設置した。
- ・今回の見直しは、学校法人等運営費補助金（経常費補助金）を中心に行うこととした。

2 私学助成制度の見直しに当たっての背景等

- (1) 少子化の進展による生徒数減少への対応
- (2) 競争社会が進行する中での、学校自らの経営努力や特色教育等への取組み
- (3) 予算総額についての説明責任

3 私学助成の現状

- (1) 私学助成の根拠
- (2) 岡山県の平成18年度の私学助成関係予算
- (3) 岡山県の学校法人等運営費補助金の概要

4 現行制度の主な問題点

- (1) 予算の積算根拠が明確ではない
- (2) 予算積算方法と補助金配分方法が異なる
- (3) 補助金の算出方法が複雑である

5 新たな制度のあり方

(1) 改革の方向性

制度の見直しに当たっては、次の視点が重要

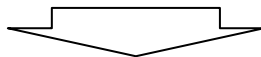
- ・持続可能性
- ・公平
- ・簡素
- ・活力



(2) 改革の具体策

次の内容を満たす制度とすることが必要

- ・予算の積算根拠が明確
- ・予算総額の理論的説明が可能
- ・予算積算方法と補助金配分方法が同一
- ・客観的、統一的な基準と指標
- ・私立学校の経営努力の促進



(3) 標準的運営費方式の導入等

- ・標準的運営費方式の導入
- ・学校経営に配慮した経過措置
- ・定員超過へのペナルティ措置